

島々の話題 ISLANDS' TOPICS

8/13
《弓削》

ゆげOBサッカーフェスティバル

8月13日、弓削小中学校グラウンドにおいて、恒例の第15回ゆげOBサッカーフェスティバルが開催されました。今年は、各地域別の4チームに分かれての熱戦が繰り広げられ、参加者は昔を思い出し一生懸命ボールを追いかけて、好プレーや時折見せる珍プレーを楽しみながら気持ちの良い汗を流していました。

試合後は、懇親会が行われ、思い出話に花を咲かせながら、大変盛り上がりしました。



8/14
《弓削》

ふるさとソフト

8月14日、弓削体育館と弓削小体育館において、恒例のふるさとソフト&ソフトバレーが開催されました。

今年は、ソフトボールはなく、ソフトバレーのみでしたが、試合は好プレー？珍プレーの続出で、和気あいあいとした雰囲気での世代を超えた交流の輪が広がりました。

試合後、懇親会が行われ、年に一度の同級生や先輩・後輩との再会に会場は大変盛り上がりしました。



8/14・15
《魚島》

うおしま盆行事

8月14日、15日魚島総合支所前広場において、盆踊りとしてんでこ踊りが行われました。14日は青年団による夜店も出て、子供たちが射的やくじ引きを楽しみました。その後盆踊りが行われ、大勢の人が輪になりにぎやかに踊りました。

15日には、魚島の伝統行事である「てんでこ踊り」が行われ、カラフルな衣装に身を包み、思い思いに化粧した人々が、掛け声に合わせて鉦や太鼓に合わせて飛び跳ねながら練り歩き、住民や帰省客らを楽しませました。



8/19

愛媛県しまなみ海道 グラウンド・ゴルフ交流大会

8月19日、弓削小学校グラウンドにおいて、愛媛県しまなみ海道グラウンド・ゴルフ交流大会が開催されました。

これは、美しい瀬戸内海国立公園の豊かな自然に恵まれた上島町に愛媛県下のグラウンド・ゴルフ愛好者が集い、お互い楽しみながら交流を広め、新しいグラウンド・ゴルフ大会を目指し、その普及と発展に寄与することを趣旨とし、愛媛県グラウンド・ゴルフ協会の主催で行われました。

当日は広島県尾道市、愛媛県の各地から参加があり、約510名の参加者が、楽しみながらプレーしていました。



8/19

中国の塩業 考古学を学ぶ

佐島・宮ノ浦遺跡が
つなぐ山東と愛媛

8月19日、せとうち交流館において、愛媛大学と上島町の連携協力に関する協定締結記念として、「中国の塩業考古学を学ぶ」佐島・宮ノ浦遺跡が「つなぐ山東と愛媛」と題した講演会が開催されました。これは、愛媛大学考古学研究室が発掘調査した上島町宮ノ浦遺跡が架け橋となつて、中国の山東大学と愛媛大学が「塩業考古学」で共同研究を開始することになり、中国の最新成果を学びながら、東アジアの製塩の歴史をひも解いていくもので、当日は、まず愛媛大学の村上恭通教授より趣旨説明があり、続いて山東大学の方輝教授の「済南大辛庄遺跡と高青陳庄遺跡の考古発見と研究」、王青教授の「西周時代の山東省南河崖製塩遺跡の考古発見と研究」、村上教授の「農耕社会成立以降の製塩と芸予諸島」と題して講演が行われました。



8/19
~23

こども自然ふれあい広場 in しまなみ with ふくしま KIDS 開催

8月19日から8月23日の5日間、「こども自然ふれあい広場 in しまなみ with ふくしま KIDS」が上島町で開催されました。このイベントは、曹洞宗四国管区教化センターが主催で、毎年夏休みに四国内の小中学生を対象に行っているイベントで、今年は福島県が東日本大震災の影響で、現在も不自由な生活を送っていることから、四国地区曹洞宗青年会が「福島原発事故被害児童支援サマーキャンプ」に協力しての合同開催となりました。上島町のバックアップのもと、こども禅キャンプと題して、福島の子供達20名と四国の子供達27名の交流を兼ねて開催された今回のキャンプでは、プロゴルファーの池田プロによるスナッグゴルフ教室、弓削島ウオークラリー、海水浴、シーカヤック・バナナボート体験があり、最終日の8月23日には離島式が行われ、4泊5日のサマーキャンプは無事終了しました。



池田プロとの記念撮影

8/23

JICA日系社会青年ボランティア 堀本梓織さん 表敬訪問

8月23日、弓削総合支所町長室において、上島町出身のJICA日系社会青年ボランティアの堀本梓織さんが帰国挨拶のため、上村町長を表敬訪問しました。
堀本さんは2010年7月1日から2012年6月30日の2年間に渡りブラジルのイタペチという日系人の移住地にある日本語学校で、日系日本語学校教師として、日系子弟に対し日本語や日本文化、情操教育の指導を行われました。
堀本さんの今後益々のご活躍を期待しています。



8/23

《岩城》

真夏の夜の音楽会 『青いレモンの鳥チャリティー』 ジャズ&シャンソンのタベ

8月23日、岩城総合庁舎2階において、真夏の夜の音楽会が開催されました。

岩城島出身のシャンソン歌手、大橋保子さんが「ハバネラ」「サバの女王」などの名曲を熱唱し、力強く美しい歌声に会場の皆さんも聞き入っていました。

また、町内の合唱団「しおさい」「piacere」「レモンコーラス」との共演や、ジャズピアニストの長野幸雄さんのピアノソロも大変盛り上がりしました。

なお、当日は、「真夏の夜の音楽会実行委員会」がチャリティーコンサートということで、会場の方々へ東日本大震災支援募金を募り、79,876円の募金が集まりました。募金は、実行委員会から日本赤十字社に全額寄附されました。



8/25
~26

「丸の内朝大学」 愛媛県フィールドワークが 開催されました

8月25日、26日の二日間、「丸の内朝大学」の講座で「ニッポン再発見クラス・愛媛しまなみ海道の離島へ」のコースがあり、興味を持った40名が岩城島に集結しました。

25日には、今治からサイクリングで岩城島までを走る「しまなみの風を切るサイクリストチーム」、海で素潜りや釣りの体験をする「岩城島でシーパラダイスチーム」、しまなみ海道沿線上の島々に移住者を訪ねる「移住者を訪ねる島暮らし探求チーム」に分かれ、夕日が沈んだ頃全員が揃うことができました。

夕食ではバーベキューを囲み、NPO岩城農村塾や、でべそおばちゃんの皆さんと一緒に、和気あいあいと交流会が始まり、上島の豊かな柑橘、野菜、海の幸などの食材の豊富さ、自然の美しさ、地元のおじさん・おばさんの温かさ、人なつっこさに皆さん驚き、感動していました。

26日には、柑橘の摘果作業等の農業体験を行い、岩城を後にしました。しまなみ海道や上島町岩城での出会いや体験を通して、目で見て、肌で感じたことを様々な形で情報発信してくれることと期待しています。



8/27
~30

第5回 離島甲子園

8月27日から8月30日の4日間、東京都八丈島において「国土交通大臣杯第5回全国離島交流中学生野球大会」が開催され、上島町から「KAMIIJIMA」が参加しました。この大会は野球を通して島同士の交流を図り、夢づくり・人づくりを行い、島の活性化を図ることを目的に、元プロ野球選手の村田兆治さんが大会提唱者となり、北は北海道の礼文島から南は沖縄県の南大東島までの大会史上最多の21チームが参加して行われました。KAMIIJIMAは、1回戦を長崎県の五島バラモンと対戦、試合は終始五島バラモンのペースでしたが、7回表に1点を奪い、見事1対0で勝利しました。翌日29日の準々決勝では鹿児島県の屋久島選抜と対戦、7回終わって1対1のため、特別延長ルールにより、1アウト満塁からスタートし、8回表に1点入れましたが、その裏に2点入れられて惜しくも2対3で敗れてしまいました。最終



優勝旗返還

日にはまさかりドリームスによる野球教室が行われました。この4日間は選手の皆さんにとって夢と希望の大切さを実感できたことと思います。選手の皆さんの今後の活躍を期待いたします。

8/25
《岩城》

Love&Beat LIVE!

8月25日、岩城港の岩城生名漁協前物場において、『Love&Beat LIVE! 2012』（ビアガーデン&ライブ）が開催されました。

今年で15回目のLove&Beat LIVE!は、開演前の夕立にどうなることかと心配されましたが、雨雲を吹き飛ばすかのように、今年初参加のa ir i erを始め地元の5バンドのパワーが大炸裂! 「Rewrite」 「気絶するほど悩ましい」 など幅広い年代の曲が演奏され、来場したお客さんもビールやチューハイ片手に演奏者と一体化し、大盛り上がりでした。



お詫びと訂正

9月号の広報において次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

■ P3「保健だより」下段の1行目
誤 動機 ⇒ 正 動悸